新型コロナウイルス感染対策を踏まえたフットサル活動マニュアル（2021.6.10）

※一部抜粋

第３版（２０２１年６月１０日作成）

（公財）北海道サッカー協会

（一社）北海道フットサル連盟

【参加チームの感染対策】

⑵ 参加者の対応

※ 参加者の範囲

 チーム（選手・役員スタッフ、引率者）、運営役員・スタッフ、審判員、 ボランティア、メディア、研修会・会議出席者

※引率者は、キッズや４種年代の選手を引率する際の保護者を含むものとし、必要最低限の人数とする。引率者も本マニュアルに沿って感染対策を行う。

※2020 年度の各種大会は、無観客を基本とする。

※2021 年度も無観客を基本とするが、感染状況により（北海道の警戒ステージが１の場合）、感染対策を講じ観客を入れて大会を実施できることとする。

① 参加チームにおける感染対策担当者の設置及び任務

大会における参加チームは、感染対策担当者を設置し、主催者（主管者）へ指定様式（参加申込書）により、事前に提出すること。

参加チームの感染対策担当者は、チーム内における感染対策が実行されているか確認し、改善を要する場合はその旨指示する。

② 健康チェックシートの提出

全ての参加者は、2 週間前から検温・体調の確認を行い、指定された「健康チェッ

クシート」を当該大会・事業の主催者（主管者）へ提出すること。

※ 健康チェックシートの記載事項

① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号、Email アドレス※個人情報の取扱に十分注意）

② 大会（事業）当日の体温

③ 大会（事業）前２週間における以下の事項の有無

 平熱を超える発熱

 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状

 だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）

 臭覚や味覚の異常

 体が重く感じる、疲れやすい等

 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

 過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされ

ている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

③ 参加の見合わせ

参加者は、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加及び会場入場を見合わせる

こと。

体調が良くない場合（過去 14 日以内に発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合

過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※ 過去 14 日以内に国内の感染拡大地域との移動があった方は、感染対策担当者

へ申し出ることとし、移動期間中の行動によっては自主的に参加を見合わせる

こと。

④ 参加者のマスク着用

会場において、競技中における選手及び主審・第 2 審判を除き、全ての参加者は、

マスクを着用すること。なお、競技中ベンチにいる選手は、マスクを着用するよう

努めること。

※夏季は、マスク着用による熱中症に留意しつつ対応すること。

⑤ 手洗い・手指消毒・咳エチケットの徹底

参加者は、試合や活動の前後など、小まめな手洗い（30 秒目安）、手指消毒を行う

と共に、咳エチケットには十分配慮すること。

⑥ ３密（密閉、密集、密接）の回避

 参加者は、３密（密閉、密集、密接）を避け、出来るだけ２m、最低１m の間隔（以

下「社会的距離」という。）を確保する。

⑦ 飲食の際のリスク回避

 飲食の際は、北海道の「感染防止行動の実践」を遵守すること。特にチームによる

飲食については、大会時や移動時含め 3 密を避け、黙食を実践することにより、感

染リスクを最大限回避すること。

⑧ 主催者（主管者）及び施設管理者が示す対策・注意事項の遵守

参加者は、主催者（主管者）及び施設管理者が示す対策・注意事項を遵守すること

を条件として参加できることを認識すること。

⑨ 練習時の対策

参加チームは、大会に向けての練習において、３密を避け、練習前後の手洗い、ミ

ーティングの短時間化等の対策を講じること。